

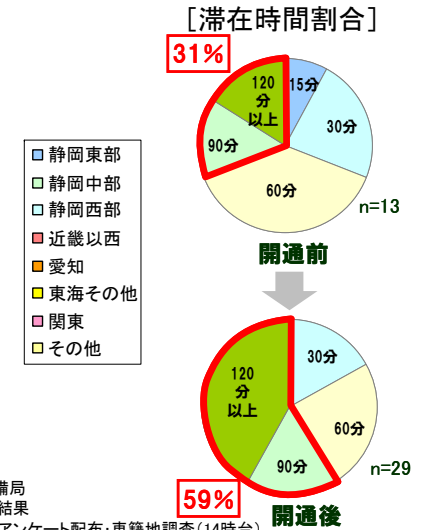
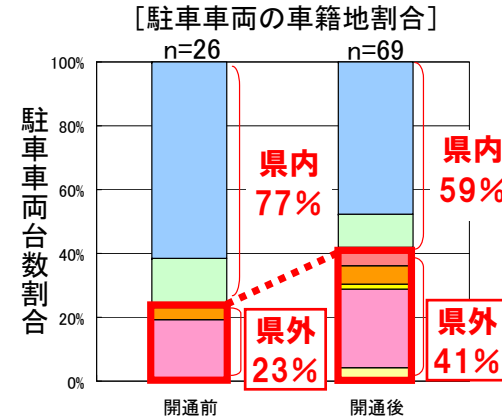
新東名高速道路(静岡県)の開通により、内陸部の観光地が活性化

- ・新東名沿線の観光施設の駐車場利用は県外車両が増加
- ・観光施設利用者アンケートでは、昨年に比べ滞在が長時間化の傾向
- ・オクシズ※では、新東名の開通により高速ICが近くなり、利用者が7%増
- ・主な観光施設の市外からの観光客の6割以上が新東名を利用



■新東名沿線の観光施設の駐車車両と滞在時間の変化

新東名沿線の観光施設である富士山せせらぎ広場(富士宮市)において、県外車両が増加、また、昨年に比べ滞在が長時間化の傾向



出典:国土交通省 中部地方整備局
車籍地・利用者アンケート調査結果
開通前:平成23年11月20日(日)アンケート配布・車籍地調査(14時台)
開通後:平成24年9月23日(日)アンケート配布、10月7日(日)アンケート配布・車籍地調査(14時台)

■オクシズ(奥静岡エリア)が活性化

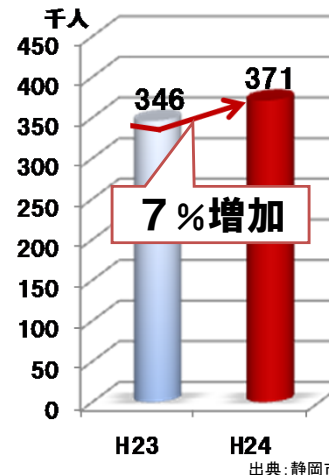


① 静岡市の北部に位置する「オクシズ」では、新東名の開通により高速ICが近くなり、主要施設(11箇所)の年間利用者が7%増加
また、主な観光施設の市外からの観光客の6割以上が新東名を利用し、特に関東などの東からのお客様が多い

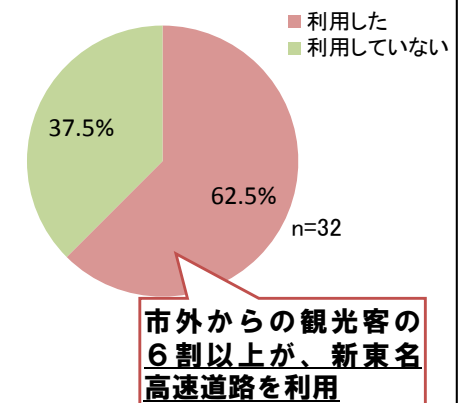


※オクシズ:
静岡市の面積の大半は、豊かな自然が残る山間の地域。そんな魅力ある地域を、「奥静岡」=「オクシズ」と愛称をつけPR

○オクシズ主要施設(11箇所)の年間利用者数の推移



○オクシズの市外からの来訪者の新東名利用状況



出典:静岡市 観光施設来訪者アンケート